

# 日本非破壊検査協会のビジョン制定について

当協会の今後の更なる発展に向けた指針として、“JSNDI ミッションステートメント”及び“JSNDI バリュー”を定め、これらを実現する具体的な施策として“JSNDI アクション”を定めました。

“JSNDI ミッションステートメント”及び“JSNDI バリュー”については、中長期の基本的な指針として継続し、“JSNDI アクション”については、その時々成すべき行動を策定します。

## JSNDI ミッションステートメント

『社会に価値ある安全・安心を提供するJSNDI』

## JSNDI バリュー

ステークホルダーとの連携強化及びサービス向上を推進し、ステークホルダーに対して次の価値を提供することを目指します。

- “社会”から尊敬される協会
- “会員”に魅力のある協会
- “産業界”で実力のある協会
- “学術・教育界”に存在価値のある協会
- “行政機関”に影響力のある協会

## JSNDI アクション

### 1. 業界バリューチェーンの構築（関連業界間の連携強化）

需要と供給が連鎖した一連の業界群が課題を共有して、学術・教育界とも共同で課題解決にあたるような情報交換、技術交流、共同研究などを企画し推進する。

### 2. 学術・産業分野の拡大と融合

他の学会・協会との共同シンポジウム、交流会、研究会など、他の技術分野や産業分野と広く連携する場を設定し、非破壊検査技術の活用分野の拡大及び他分野との融合による活性化及び発展を図る。

### 3. 学会機能と業界団体機能のシナジー強化

学会機能・業界団体機能によって、シーズ・ニーズの両面を有する本協会の特長を生かし、各業界からの要望などを集約して、産学官の連携及びネットワーク構築を行う。

### 4. 有効なグローバル展開の強化

日本の技術及び技術者の国際的位置づけの向上など、ICNDT, APFNDT, ISO会議等への有効な対応を行うとともに、各国協会との相互交流や認証の相互承認を促進する。

### 5. 会員活動の活性化

若手研究者・技術者の育成及びOB人材の活用の他、同業種・異業種、川上・川下、産学官など様々な交流を推進する。地域活性化のため、支部活動についても積極的な支援及び連携を行う。

